

NAGANO ゴルフ協会だより

2010年7月

天候に災いされた日が多かった前半のシーズンでしたが、協会事業は順調に実施できました。

協会と信濃毎日新聞社、信越放送が主催する県アマチュア選手権は、今年から参加費を見直すなど規定を変更し、既に第1次予選は6会場で、7月下旬に3会場で第2次予選を実施、8月26,27日に穂高CCで決勝を行います。

県シニア選手権(9月17日・塩嶺CC)と県女子アマ選手権(10月14日・大浅間GC)も参加費を引き下げ参加しやすくしました。(文中敬称略)

ゴルフ場利用税の撤廃を知事に要請

オリンピックの正式種目に決定したのに唯一、スポーツに消費税とゴルフ場利用税が課税されている不公平税制を是正し、ゴルフ場利用税を撤廃するよう、長野県ゴルフ協会を代表し加藤理事長、宮森副理事長が6月19日、村井県知事、寺島県会議長に要請しました。4月の総会で撤廃を決議したのを受けての働きかけです。

村井知事は、ゴルフが生涯スポーツとして親しまれ、観光面でも寄与していること、スポーツに対する二重課税であることは理解を示しましたが、県財政が厳しい中で、重要な財源になっている、と慎重な回答でした。

ゴルフ場利用税廃止運動を推進

日本ゴルフ協会・日本ゴルフ場支配人会連合会は廃止を求める運動し新本部を設置、署名活動を始めています。

千葉国体、北信越国体の選手決定

第65回国体(9月21~23日・千葉県成田市)県予選は4月27日・穂高CCで第1次、6月18日・長野CCで第2次予選を行った。

男子は25人が参加、2日間トータルの成績で田中孝幸(佐久市)150、宮島一馬(塩尻市)150、小山宏充(長野市)152の3人に決定した。いずれも秋田、大分、新潟など国体出場経験がある。国体監督は宮島選手兼任。

女子は第1次出場者が5人と少なく、1次予選の結果2人が失格し、3人が決定した。小出真鈴(長野西高1年)80、伊藤萌衣(長野東高2年)87、浜上佳奈(佐久長聖高1年)89で3人とも新潟国体経験者。浜上は昨年、愛知県の国体代表だった。監督は内山敏ジュニア委員。

少年男子(第31回北信越・8月9、10日・富山県高岡市)は、24人が参加し、6月4、5日に立科GCで予選を行った。佐久長聖、上田、東御清翔、長野東のゴルフ部員が参加し活気ある大会となった。

2日間トータルの成績で荻原将太(蓼科高2年)142、宮川将(須坂墨坂中3年)144、斎藤和也(軽井沢高2年)147の3人に決定。齋藤、荻原は昨年の国体に続いての出場。昨年は初めて県チームが本大会出場権を得た。監督は召田誠ジュニア委員。

シニア市町村大会優勝は塩尻市

第10回シニア市町村対抗大会は4月20日、諏訪湖CCに39チーム、192人が参加した。団体は 塩尻市(小倉康男、宮島秀光、小林幹児、笹岡松平、吉江利夫)303 諏訪市 312 上田市 B315 坂城町 316 富士見町 320。(スコアは上位4人の合計)
個人は 呉本公太(岡谷市)70 中沢恒雄(上田市 B)71 宮島秀光(塩尻市)73 小倉康男(塩尻市)73 石津正(御代田町)74
大会の優勝チーム・塩尻市がねんりんピック石川大会の代表チーム編成権を持ち、選手3人は小倉康男、宮島秀光、吉江利夫に決定した。大会は9月、石川県加賀市で。

レディース地区対抗は東御市が連覇

第10回レディース地区対抗大会は4月23日、長野国際CCに23チーム、111人が参加して行った。団体は 東御市(懸川恵子、金根道子、原田茂子、手塚さおり、尾崎政子)345 長野市 B352 ちのちの 354 長野市 A 355 千曲市 355。東御市は昨年に続く優勝。(スコアは上位4人の合計)
個人は 嶋田万里子(長野市)80 懸川恵子(東御市)82 小林ゆたか(松本市)82 土屋紀代美(千曲市)82 金根道子(東御市)83。

夏休みに4つのジュニア大会・スクール

ジュニア選手が増え、力をつけてきたのにあわせて、ジュニアの研鑽機会が増え、この夏休みには、次の大会・スクールが開催される。

第3回須坂JCカップ(7月30日・菅平グリーンゴルフ)

夏季ゴルフスクール(KGA後援・8月2日・諏訪湖カントリークラブ)

第1回abn佐久市ジュニアゴルフ大会(8月10日・佐久平カントリークラブ)

第12回県ジュニアゴルフ選手権(8月17日・信濃ゴルフ倶楽部)

協会主催のジュニア研修会は上田丸子グランヴィリオで県高校春季研修会と合わせて3月に第1回を行い、第2回は4月に豊科CCで、第3回は5月に諏訪湖CCでスナックゴルフ体験会と合わせて開いた。いずれも30人以上が参加した。

9月23日には、県アマチュア選手会主催の第3回ジュニア大会が豊科CCで開かれる。駒ヶ根市にもジュニアクラブが6月に発足、長野、上田、松本、辰野に次いで誕生。

日本アマで上位に入り、プロに交じっての試合で上位を占める女子中学生選手がおり、男子でも県知事杯で優勝するなど、県ジュニア選手の活躍が目立ってきた。

以上